

ファーストペインギン通信

第33号
発行日
令和4年12月19日(月)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史

防犯教室 校内編

校内に不審者が入って来た場合、生徒は

- ①教室に逃げ込み、ドアの所にバリケードを築く。廊下側に窓はなく、教室ドアは内開きなので、机を置いて、中から押さえおけば不審者は侵入できない。
- ②iPadを使って先生に連絡する。
- ③天井近くの換気窓からの侵入を防ぐ。柄の長いほうきなどを準備する。
- ④外をのぞかない。決して。
- ⑤恐怖心でパニックになる人がいたら、周りの人がケアしてあげる。
- ⑥安全が確認されたという合図をひたすら待つ。

通学路編

- 単独で登下校しない。同じ方向に行く友人がいない場合、高校生の後などに続いて進む。
- 暗くなつてからの下校は特に注

意して明るく人通りの多い道を。
 ○携帯等に気を取られないように。警戒心がなくなる。
 ○不審者を見かけたら、人混みの方、コンビニなどに逃げる。
 ○痴漢が出たら、110番通報する。学校に連絡する。
 ○腕や体をつかまれたら、大声を出す。しかし、恐怖心で声が出なくなることが多いので、防犯ブザーを鳴らす方が良い。

実演編

簡単な護身術

- 腕をつかまれた時、振りほどくための実習です。
- 生徒たちも2人一組になって試しました。



防犯・防災教室開催される

本校の鹿島邦彦先生から、12月8日(木)に防犯、9日(金)には防災について教えていただきました。



さすまた実習

不審者を取り押さえる方法を学びました。もちろん、生徒たちが行うのではなく、教員の仕事です。2人一組でそれぞれさすまたを持って取り押さえます。特に、不審者が刃物などの武器を携帯しているときの対処方法を学びました。

この実習が役に立つ日が来ないことを祈りながら、さすまたを置きました。

防災教室 火災対策

火災から命を守る方法について学びました。

- ①周りの人に知らせる
119番通報、火災報知器も

②初期消火

できるのは3分まで、それ以降は消火できません。

③逃げる時の注意

ハンカチなどで鼻・口を覆い、体を低くして移動します。煙には有毒物質が含まれています。

火災で命を落とす原因は、火傷などの体への損傷よりも、一酸化炭素中毒や燃焼物から出る有毒物質によることが多いのです。

④「おかしも」の励行

読者の皆さんには瞬時にこの「おかしも」が何を表すかがわかりますか。ご家庭で確認しましょう。お子さんならすぐわかりますよ。

消火器実習



消火器の代わりに水が詰まつた消火器をお借りして、生徒た

ちの消火訓練が行われました。校門前に集合し、火元に見立てるカラーコーンに向かって水を発射します。

①火事を発見後「火事だ！」と周りに知らせる。

②消火器の安全ピンを抜き、ホースを火元に向けて、レバーを握る。

③勢いよく水が噴き出し鎮火。

地震対策

今地震が起きたら、机の下にもぐって頭を守る。机がなければ、なるべく上に物がないところに移動して頭を守る。

地震そのものから生き残った後は、電気、ガス、水道等のインフラが止まった状態で生き続けるための備蓄は大切です。

知っておくと得することはすべて生徒手帳に書かれています。

- ・地震直後の行動原則
- ・登下校中に潜む危機
- ・緊急避難校ネットワーク
- ・帰宅困難者対策 等

次必ず、生徒手帳で確認してください。。